

人・ひと・ヒト 浮世絵の人と顔

Thematic Exhibition HITO: Human Faces and Figures in Ukiyo-e

2024年 4月13日(土)～6月2日(日)

主催：徳川美術館・名古屋市蓬左文庫

浮世絵の歴史を通じて常に役者絵と美人画が中心的な画題でした。人気役者や評判の女性の姿絵は、描写法の変化にあわせてさまざまに描かれ続けました。時代とともに、江戸時代唯一の見るスポーツであった相撲の主役である力士や、歴史物語で勇躍する英雄たちも描かれるようになります。さらに物語の主役が単独に描かれる武者絵も登場し、多様な人物描写が展開します。

一方、浮世絵の歴史の後半になって登場した風景画でも、広重の作品では特に、人物表現が重要な役割を果たす例が多く見られます。浮世絵は、人物表現に支えられて推移したといってもいいでしょう。

本展では、おもに江戸時代後期の浮世絵の人物表現を、誰を描くか、どう描くかなどのさまざまな視点から紹介します。ヒーロー、スター、人気者がどう描かれてきたか、当時の人々が浮世絵に何を期待し、どのように見ていたかを考え、江戸文化を理解する一助としていただけたら幸いです。

- 都合により出品作品が変更となる場合がございます。 ● 所蔵者欄の※印は徳川慶藏コレクションを意味します。
- 展示リストの順番は陳列の順番と必ずしも一致しません。

No.	作者	作品名	判型・摺	製作時期	所蔵者
第一章 役者を描く					
1	鳥居清広	初代嵐富之助	細判紅摺絵	宝暦5年(1755)頃	メ～テレ
2	勝川春章	五代目市川団十郎の助六	細判錦絵	18世紀後期	メ～テレ
3	勝川春好	七代目片岡仁左衛門	細判錦絵	18世紀後期	メ～テレ
4	歌川豊国	三代目沢村宗十郎と二代目藤川武左衛門	大判錦絵	19世紀前期	メ～テレ
5	歌川豊国	市川白猿と四代目市川団蔵	大判錦絵	19世紀前期	メ～テレ
6	歌川国貞	二代目関三十郎の白木重右衛門実八齋屋弥市と五代目松本幸四郎の幡随院長兵衛と三代目尾上菊五郎の才二良実八白井権八	大判錦絵三枚続	19世紀中期	メ～テレ
7	歌川国貞	四代目市川小団次の石川五右衛門	大判錦絵	文久元年(1861)	名古屋市博物館 尾崎久弥コレクション
8	歌川国貞	今様押絵鑑 竹拔五郎	大判錦絵	万延元年(1860)	名古屋市博物館 尾崎久弥コレクション
9	月岡芳年	花吹雪 庵室場 尾上梅幸 岩倉宗玄	大判錦絵三枚続	明治23年(1890)	徳川美術館
10	月岡芳年	雪月花の内 月 市川三升 毛剃九右衛門	大判錦絵三枚続	明治23年(1890)	徳川美術館
11	月岡芳年	雪月花の内 花 市川左団次 御所五郎蔵	大判錦絵三枚続	明治23年(1890)	徳川美術館
12	不明	四代目中村歌右衛門死絵	大判錦絵	嘉永5年(1852)	名古屋市博物館 尾崎久弥コレクション
13	歌川国芳	八代目団十郎死絵	大判錦絵三枚続	嘉永7年(1854)	名古屋市博物館 尾崎久弥コレクション
第二章 ヒーローを描く 歴史画から武者絵へ					
14	葛飾北斎	『近世怪談霜夜星』	版本	文化5年(1808)	名古屋市蓬左文庫
15	葛飾北斎	仮名手本忠臣蔵 二段目	横大判錦絵	文化3年(1806)	メ～テレ
16	歌川国芳	八犬伝芳流閣	大判錦絵三枚続	天保11年(1840)	名古屋市博物館 高木繁コレクション
17	歌川国芳	相馬の古内裏	大判錦絵三枚続	19世紀中期	名古屋市博物館 高木繁コレクション
18	歌川国芳	弁慶が勇力戯に三井寺の梵鐘を叡山に引揚る図	大判錦絵三枚続	19世紀中期	名古屋市博物館 高木繁コレクション
19	歌川国芳	大物浦平家の亡霊	大判錦絵三枚続	19世紀中期	名古屋市博物館 高木繁コレクション
20	歌川国芳	大物浦海底之図	大判錦絵三枚続	19世紀中期	名古屋市博物館 高木繁コレクション
21	月岡芳年	新撰東錦絵 延命院日当話	大判錦絵二枚続	明治18年(1885)	名古屋市博物館 尾崎久弥コレクション
22	月岡芳年	新撰東錦絵 生嶋新五郎之話	大判錦絵二枚続	明治18年(1885)	名古屋市博物館 尾崎久弥コレクション
23	葛飾北斎	鬼児島弥太郎と西法院赤坊主	大判錦絵	19世紀前期	メ～テレ
24	歌川国芳	通俗水滸伝豪傑百八人之一人 花和尚魯知深初名魯達	大判錦絵	文政10年(1827)頃	名古屋市博物館 高木繁コレクション
25	歌川国芳	列猛伝 宮本武三四	長大判錦絵	19世紀中期	名古屋市博物館 尾崎久弥コレクション
26	歌川国芳	真勇競 平知盛	長大判錦絵	文久元年(1861)	名古屋市博物館 尾崎久弥コレクション
27	歌川国芳	太平記英雄伝 藤原正清	大判錦絵	19世紀中期	名古屋市博物館 尾崎久弥コレクション
28-1	月岡芳年	月百姿 原野月 保昌	大判錦絵	明治21年(1888)	徳川美術館
28-2	月岡芳年	月百姿 五条橋の月	大判錦絵	明治21年(1888)	徳川美術館

No.	作者	作品名	判型・摺	製作時期	所蔵者
第三章 女性を描く					
29	喜多川歌麿	花扇 瀧川	大判錦絵	19世紀前期	メ～テレ
30	溪斎英泉	當世好物八契 けん酒	大判錦絵	19世紀中期	名古屋市博物館 尾崎久弥コレクション
31	溪斎英泉	田川屋前の美人	掛物絵判錦絵	19世紀中期	名古屋市博物館 尾崎久弥コレクション
32	歌川国貞	今様三十二相 気がせき相	大判錦絵	19世紀中期	名古屋市博物館 尾崎久弥コレクション
33	歌川国貞	向ふ島の夜桜	大判錦絵三枚続	万延元年(1860)	名古屋市博物館 尾崎久弥コレクション
34	歌川国貞	うゑ野の暮雪	大判錦絵三枚続	万延元年(1860)	名古屋市博物館 尾崎久弥コレクション
35	歌川国芳	山海めでたいづゑ 五 おもたい 伊勢海老網	大判錦絵	嘉永5年(1852)	名古屋市博物館 尾崎久弥コレクション
36	歌川国芳	山海めでたいつゑ 十 天気になりたい 土佐鯉節	大判錦絵	嘉永5年(1852)	名古屋市博物館 尾崎久弥コレクション
37	歌川国芳	江戸じまん名物くらべ こま込のなす	中判錦絵	19世紀中期	名古屋市博物館 尾崎久弥コレクション
38	歌川国芳	注文御詠染 あいねづみ	団扇絵判錦絵	嘉永5年(1852)	名古屋市博物館 尾崎久弥コレクション
39	月岡芳年	風俗三十二相 かゆさう 嘉永年間かこみものの風ぞく	大判錦絵	明治21年(1888)	名古屋市博物館 尾崎久弥コレクション
40	月岡芳年	風俗三十二相 さむさう 天保年間深川仲町芸者風俗	大判錦絵	明治21年(1888)	名古屋市博物館 尾崎久弥コレクション
41	月岡芳年	風俗三十二相 にくらしさう 安政年間名古屋嬢之風俗	大判錦絵	明治21年(1888)	メ～テレ
第四章 広重風景画の人物					
42	葛飾北斎	東海道五十三次 四十 池鯉鮒	中判錦絵	19世紀前期	名古屋市博物館
43	葛飾北斎	東海道五十三次 四十一 鳴海	中判錦絵	19世紀前期	名古屋市博物館
44	歌川広重	保永堂版東海道五拾三次之内 日本橋 朝之景	横大判錦絵	19世紀前期	名古屋市博物館
45	歌川広重	保永堂版東海道五拾三次之内 由比 薩埵峠	横大判錦絵	19世紀前期	名古屋市博物館
46	歌川広重	保永堂版東海道五拾三次之内 藤枝 人馬継立	横大判錦絵	19世紀前期	名古屋市博物館
47	歌川広重	保永堂版東海道五拾三次之内 土山 春之雨	横大判錦絵	19世紀前期	名古屋市博物館
48	歌川広重	保永堂版東海道五拾三次之内 水口 名物干瓢	横大判錦絵	19世紀前期	名古屋市博物館
49	歌川広重	木曾海道六拾九次之内 上ヶ松	横大判錦絵	19世紀前期	徳川美術館※
50	歌川広重	木曾海道六拾九次之内 洗馬	横大判錦絵	19世紀前期	徳川美術館※
コラム① 相撲絵 江戸の鑑賞スポーツ					
51	歌川国貞	生月鯨太左衛門	横大判錦絵	弘化元年(1845)	徳川美術館※
52	歌川国貞	生月鯨太左衛門	大判錦絵	弘化元年(1845)	徳川美術館※
53	歌川国芳	生月鯨太左衛門	大判錦絵	弘化元年(1845)	徳川美術館※
54	歌川国貞	勸進大相撲八景 稽古之図	大判錦絵三枚続	19世紀中期	徳川美術館※
55	落合芳幾	勸進大相撲土俵入之図	大判錦絵三枚続	安政6年(1859)	名古屋市博物館 尾崎久弥コレクション
コラム② 人で遊ぶ 戯画					
56	歌川国芳	駒くらべ将棋のたはむれ はだか王将・まってくんねへまたねへまたねへ	横中判錦絵二丁掛	19世紀中期	名古屋市博物館 尾崎久弥コレクション
57	歌川芳藤	流行温泉之図	大判錦絵	19世紀後期	徳川美術館
58	歌川国利	新板猫の戯	大判錦絵	明治17年(1884)	徳川美術館
59	歌川国芳	としよりのよふな若い人だ	大判錦絵	19世紀中期	名古屋市博物館 尾崎久弥コレクション
60	歌川国芳	としよりのよふな若い人だ	大判錦絵	19世紀中期	徳川美術館※
61	歌川国芳	人かたまつて人になる	大判錦絵	19世紀中期	徳川美術館※
62	歌川国芳	人をばかにした人だ	大判錦絵	19世紀中期	徳川美術館※
63	歌川国芳	みかけはこはみがとんだいい人だ	大判錦絵	19世紀中期	徳川美術館※
コラム③ 北斎の人物描写					
64	葛飾北斎	『北斎漫画』初・3・4・6・8・10～12編	版本	19世紀前期～中期	徳川美術館※
65	葛飾北斎	『北斎漫画』初編～10・12～15編	版本	19世紀前期～中期	名古屋市博物館
66	葛飾北斎	『踊独稽古』	版本	文化12年(1815)	個人
67	葛飾北斎	『踊独稽古』	版本	文化12年(1815)	名古屋市蓬左文庫